

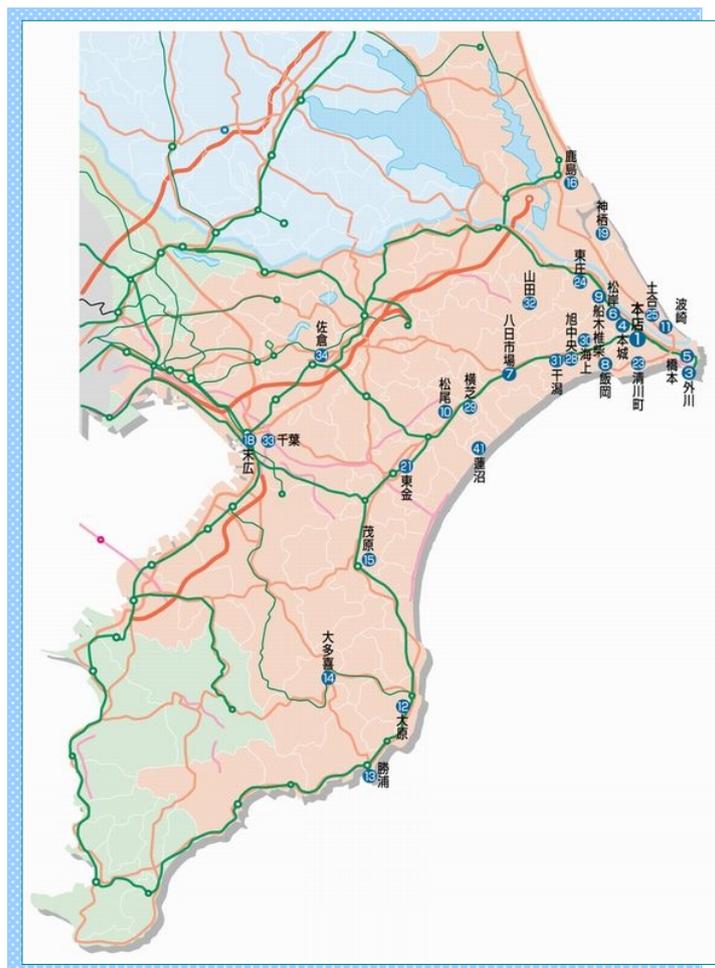
2012

8月号

ちょうしんきん

景況レポート

Economic Report of Sales Territory



1. 概況

全体の景況感（全29店舗）

	好転	不変	悪化
前月と比較して	0	28	1
今後3か月程度の見通し	0	28	1

【漁業】

銚子港の平成24年7月の総水揚げ数量は18,989トンで前年同月比1,353トンとなった。総水揚げ金額は1,949百万円で前年同月比+210百万円の増加となった。鮪が前年同月比水揚げ数量・金額ともに増加した。また、前月比については総水揚げ数量で90トン増加したが、総水揚げ金額では1,065百万円減少した。7月は鯖・鮪が減少し、底曳が休漁となったが、イワシが大幅に増加したことから、水揚げ数量は増加したが、水揚げ金額では減少した。

【農業】

銚子地区では、主要農産物であるキャベツ・ダイコンの出荷は終了し、トウモロコシが最盛期に入った。トウモロコシは6月から1箱2L（5kg）1,000円程度とほぼ前年並みに推移、7月に入り露地物が増加しており、当初懸念された台風による倒伏の影響は見られない。旭地区の出荷がほぼ終わり、銚子地区が本格化しているが一部塩害が見られる。

【商業】

個人消費については、エコカー補助金の下支えがあり、マイカー購入が順調だが対象車種が限られたため待ち期間が依然改善されていない。また、エコカー補助金の終了による反動が懸念される。一方、住宅関連では太陽光発電関連の話題が顕在化し、エコライフにつながる消費の増加が期待されている。

【建設業】

平成24年6月の公共機関からの受注工事（1件500万円以上の工事）は、千葉県で19,351百万円（前年同月比▲2,590百万円）、茨城県は20,116百万円（前年同月比+13,916百万円）となった。また前月（5月）と対比して千葉県は▲4,444百万円、茨城県は+15,805百万円となった。

【観光業】

観光業は、夏休みシーズンに入り個人客を中心に予約状況は例年並みに推移、今後の客足増加に期待している。

九十九里・飯岡地区では、震災で被災した観光関連事業者の復興グループへの「グループ補助金」が決まり、行政の復興計画などには無かった被災事業者の復興・再建計画が動き始める模様。

<業種別天気図>

全 体	漁 業	水産加工業	農 業	商 業
建 設 業	観 光 業	不 動 産 業	養 豚 業	自 動 車

（前月と比較した当月の各業種の景況感を天気図で表示してみました。）



2. 主要業種別動向

■ 漁業・水産加工業

銚子港の平成24年7月の総水揚数量は18,989トンで前年同月比1,353トンとなった。総水揚金額は1,949百万円で前年同月比+210百万円の増加となった。鯖が前年同月比水揚数量・金額ともに増加した。また、前月比については総水揚数量で90トン増加したが、総水揚金額では1,065百万円減少した。7月は鯖・鰯が減少し、底曳が休漁となったが、イワシが大幅に増加したことから、水揚数量は増加したが、水揚金額では減少した。

波崎港では、サンプリング検査等があったが稼働日数は前月より3日増加して10日となった。7月の総水揚数量9,863トン、総水揚金額593百万円、対前月比水揚数量は+5,175トン増加、同水揚金額も294百万円の増加となった。

勝浦港では、総水揚数量は4,826トンで総水揚金額1,235百万円となった。前年同月比では、鰹・鯖の水揚げが落ち込んだことにより総水揚数量、総水揚金額ともに大きく減少した。前月対比でも、総水揚数量で▲3,305トン、総水揚金額も▲1,168百万円減少した。

水産加工業では、解凍サンマ・塩干物の需要が停滞している。チリ産銀鮭の魚価が低迷し、青物（サンマ、鯖、イワシ）の需要・価格に影響がでており停滞基調が懸念される。

また水産物販売では、鮮魚の放射性物質の検査に時間を要するが、検査施設の導入検討が遅れており、県産水産物の販売機会が失われる事態が懸念される。

銚子魚市場水揚高

銚子市漁業協同組合調べ

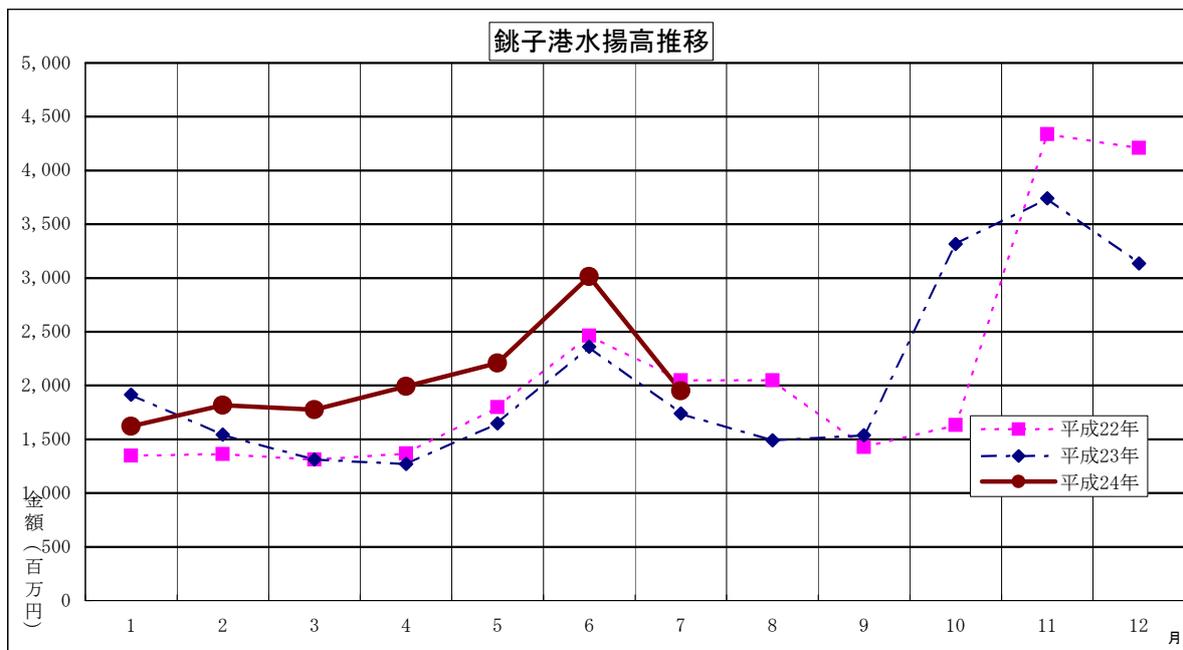
種類	区分	数量（トン）			金額（千円）		
		H24年7月	H23年7月	前年同月比	H24年7月	H23年7月	前年同月比
鰯		15,954	14,076	1,878	935,831	856,612	79,219
鯖		41	642	▲ 601	3,211	57,142	▲ 53,931
鰹		636	789	▲ 153	66,387	46,060	20,327
鰹・鯖		2,233	1,886	347	853,325	563,213	290,112
(内鰹一本釣)		298	320	▲ 22	74,879	69,051	5,828
秋刀魚		0	0	0	0	0	0
底曳		0	0	0	0	0	0
その他		125	243	▲ 118	90,504	216,127	▲ 125,623
合計		18,989	17,636	1,353	1,949,257	1,739,154	210,103

前月比	数量	100.48%
	金額	64.66%
前年同月比	数量	107.67%
	金額	112.08%

水揚日数



	H24年7月	H24年6月	H23年7月
鰯	10日	5日	10日
鯖	3日	6日	3日
鰹	3日	1日	7日
鰹・鯖	17日	23日	18日
(内鰹一本釣)	7日	8日	3日
秋刀魚	0日	0日	0日
底曳	0日	21日	0日
その他	25日	25日	22日



■ 農 業

銚子地区では、主要農産物であるキャベツ・ダイコンの出荷は終了し、トウモロコシが最盛期に入った。トウモロコシは6月から1箱2L（5kg）1,000円程度とほぼ前年並みに推移、7月に入り露地物が増加しており、当初懸念された台風による倒伏の影響は見られない。旭地区の出荷がほぼ終わり、銚子地区が本格化しているが一部塩害が見られる。

波崎地区のピーマンは、春物から夏物への植え替え時期で出荷量は減少気味、価格は前年比安値で取引された。今後は価格・出荷量ともに例年並みに推移する模様。

旭地区のキュウリ・トマトの価格相場はキュウリが1本（等級 秀）5円～15円程度、トマトは1箱（4kg）300円～800円程度で取引された。前月と比較してキュウリは15円程度値下がりし、トマトは200円程度値を下げて取引された。

海上地区のマッシュルームは、1パック（100g）100円前後と前年同月と同水準で取引されている。マッシュルームは室内生産で気候の影響がなく安定した価格で推移している。

飯岡地区では、7月中旬にかけて貴味メロンの最盛期を迎え、天候にも恵まれ例年より大玉のできとなった。1箱2,300円前後で推移し、下旬からはやや値を上げている。

■ 商 業

個人消費については、エコカー補助金の下支えがあり、マイカー購入が順調だが対象車種が限られたため待ち期間が依然改善されていない。また、エコカー補助金の終了による反動が懸念される。一方、住宅関連では太陽光発電関連の話題が顕在化し、エコライフにつながる消費の増加が期待されている。

小売業では、中元商戦は低調な推移となった。夏物商品の本格需要を見込んだが、来店者も、客単価も減少傾向が続いている。依然として消費者の節約志向は強く、厳しい状況が見込まれる。

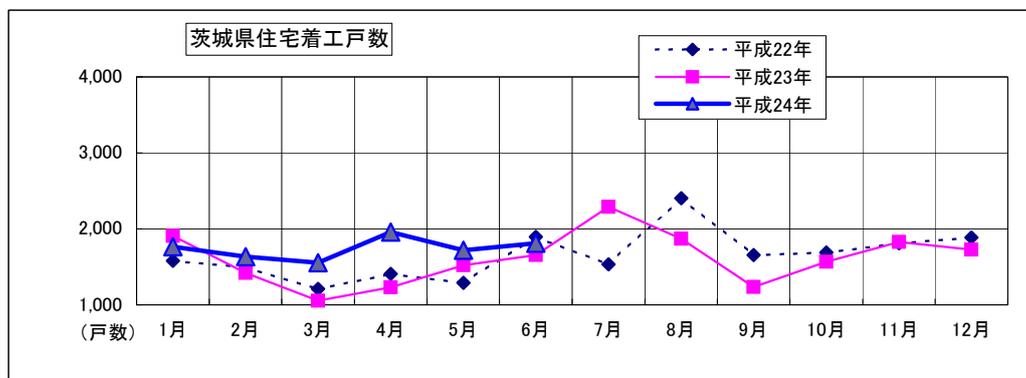
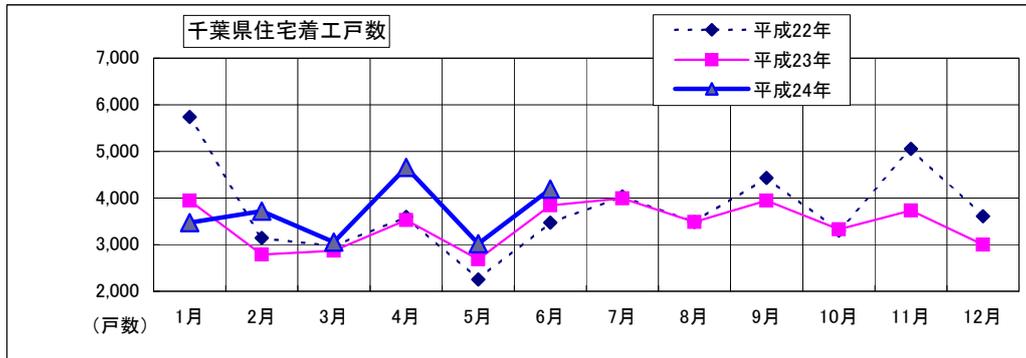
銚子地区では、宿泊者に対する買い物券の提供で一定の効果が見られた。また、日曜日に行う軽トラ市にあわせて、店頭商品を置き換えて参加した商店で売上増加が見られ、お客様に商店街へ足を運んでいただく企画の重要性が再認識されている。

情報アドバイス
銚子商工会議所

■ 建設業

千葉県・茨城県の住宅着工戸数は以下のとおり。

	前月戸数	前々月戸数	増減
千葉県	4,192	3,023	1,169
茨城県	1,810	1,717	93



平成24年6月の公共機関からの受注工事(1件500万円以上の工事)は、千葉県で19,351百万円(前年同月比▲2,590百万円)、茨城県は20,116百万円(前年同月比+13,916百万円)となった。また前月(5月)と対比して千葉県は▲4,444百万円、茨城県は+15,805百万円となった。

公共機関からの受注工事は、千葉県では国、地方ともに受注が減少し、前年同月を下回り・茨城県では国および地方の機関からの受注が増加し、前年同月を上回る結果となった。

平成24年6月の住宅着工戸数は、千葉県では4,192戸と前年同月比+9.17%(352戸)の増加となった。茨城県については、1,810戸で+9.43%(156戸)と増加した。なお、前月(5月)対比については、千葉県で1,169戸、茨城県では93戸の増加となった。

国土交通省統計情報より

■ 観光業

観光業は、夏休みシーズンに入り個人客を中心に予約状況は例年並みに推移、今後の客足増加に期待している。

銚子市では7月15日(日)に、きんめだいまつりやまかないグランプリ予選などいくつものイベントが同時開催され多くの人出で賑わった。

神栖市波崎地区は、天然芝のサッカーグラウンドの保有では日本有数であるが、先の震災被害の大規模な復旧が行われたことから、今夏は震災前の予約状況まで回復した。

九十九里・飯岡地区では、震災で被災した観光関連事業者の復興グループへの「グループ補助金」(中小企業の施設や設備の復旧と整備を支援するため、事業費の75%(国50%、県25%)を上限に補助)が決まり、行政の復興計画などには無かった被災事業者の復興・再建計画が動き始める模様。

情報アドバイス
銚子商工会議所

■ 不動産業

千葉市中央区では、マンション計画を始め複数の分譲計画が進行している。

茨城県神栖市では、土合地区で複数の分譲計画が進んでおり、8月盆明けの売出しには7割方売却予約を見込んでいる。また、同地区では大手企業の遊休地(15,000坪)の分譲が計画されており、同エリアでの住宅供給がさらに進む見込み。

■ 養豚業・畜産業

平成24年7月の東京市場での鶏卵と豚枝肉の卸売価格相場は、鶏卵（Mサイズ）の卸売価格は平均155円/kgで前月比▲6円/kg値下がりした。前年同月比については▲15円/kg値を下げた。豚枝肉の卸売価格相場は、496円/kgで前月比▲34円/kg値下がりした。前年同月比については▲37円/kg値を下げた。

■ 自動車ディーラー

平成24年7月の千葉県新車登録台数は14,749台で、前年同月対比139.73%（+4,194台）の増加となり、11ヶ月連続で前年同月台数を上回った。また、前月対比では102.67%（+383台）の増加となった。

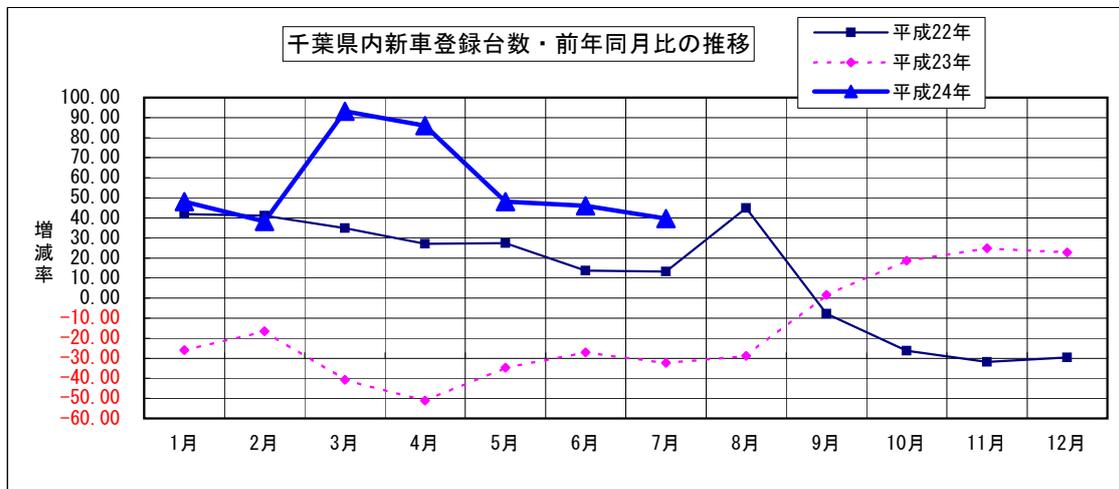
車種市場別の登録台数状況を見ると、乗用車市場全体では13,249台の登録台数で前年同月対比142.20%（+3,932台）の増加となった。また、貨物車市場は1,200台の登録台数で前年同月対比125.79%（+246台）の増加となった。

占拠率はトヨタが50.1%と高水準を確保しており、次いで2位は、10ヶ月連続でホンダ（17.6%）となり、日産（12.0%）は3位となった。

千葉県内新車登録台数状況（軽自動車を除く）

		当月	前月	前月比	前年同月	前年比
乗用	普通	6,018	6,106	98.56%	4,353	138.25%
	小型	7,231	6,470	111.76%	4,964	145.67%
	小計	13,249	12,576	105.35%	9,317	142.20%
貨物	普通	368	506	72.73%	255	144.31%
	小型	832	897	92.75%	699	119.03%
	小計	1,200	1,403	85.53%	954	125.79%
特殊等	特殊	266	319	83.39%	242	109.92%
	バス	34	68	50.00%	42	80.95%
	小計	300	387	77.52%	284	105.63%
総合計		14,749	14,366	102.67%	10,555	139.73%

社)日本自動車販売協会連合会 千葉県支部調べ



情報アドバイス
千葉トヨタ自動車(株)

3. その他の動向

求人

有効求人倍率

(単位：倍、増減はポイント)

	前月	前々月	増減	前年同月	増減
銚子公共職業安定所管内	0.69	0.63	0.06	0.50	0.19
茂原公共職業安定所管内	0.50	0.47	0.03	0.46	0.04
いすみ公共職業安定所管内	0.56	0.53	0.03	0.47	0.09
成田公共職業安定所管内	0.72	0.67	0.05	0.45	0.27
佐原公共職業安定所管内	0.52	0.46	0.06	0.35	0.17
千葉県	0.60	0.59	0.01	0.44	0.16
常陸鹿嶋公共職業安定所管内	0.88	0.85	0.03	0.62	0.26
茨城県	0.83	0.83	0.00	0.62	0.21

有効求人倍率＝有効求人数÷有効求職者数

ハローワーク銚子/茂原/いすみ/成田/佐原/常陸鹿嶋調べ

電力

電力使用量

(単位：千kwh)

	前月	前年同月	増減
東京電力成田支社管内総電力使用量	375,920	364,930	10,990

東京電力(株)成田支社調べ

倒産

平成24年(2012年)7月の負債総額1000万円以上を有する千葉県内企業倒産件数は23件で、前月比で1件の減少となった。また、前年同月比では8件の減少となった。

負債総額は16億3400万円で、前月比96億900万円の減少となり前年同月比では66億6900万円の減少となった。7月は負債総額10億円以上の大型倒産は発生せず、中小・零細企業の小口倒産が散発した。

千葉県内の震災関連倒産は、7月は6ヶ月ぶりに発生せず、2回目となった。震災後、復興需要を求めて、東北地方に流出する企業・従業員も多い。そのため、県内では、職人不足に苦慮する業者も多く、労務費の上昇を招いているケースも見受ける。しかし、業者不足から従来取引のない県内企業への発注を背景に業績が上向く企業も散見される。

倒産原因としては、業績不振が20件、全体の87.0%を占めており、次いで、その他偶発的要因が3件(13.0%)となった。

また、円高・エネルギー価格の高騰が要因となり、幅広い業種で企業収益を悪化させており、企業倒産を抑制してきた政府施策も来年3月に終了する。現在、県内経済は踊場の状態にあり、足元の倒産は低水準に推移するものの、今後は増勢傾向をたどる可能性が高い。

倒産会社の従業員数は80名で前月比112名の減少となった。

産業別では「小売業」が7件を占めた。負債総額では「卸売業」が5億円と多く、次いで「小売業」が3億円となった。

原因別では、「業績不振」によるものが20件(構成比87.0%)と多く、次いで「その他偶発的要因」が3件(構成比13.0%)となった。

地域別では、県西部での発生が多く、倒産形態では破産が21件、銀行取引停止処分が2件と続いた。

(東京商工リサーチ・千葉県内企業倒産状況より)

本誌作成にあたってのデータ参照先

銚子市漁業協同組合
銚子商工会議所
株式会社 東京商工リサーチ
国土交通省 統計情報
社) 日本自動車販売協会連合会 千葉県支部
千葉トヨタ自動車 株式会社
ハローワーク銚子
ハローワーク茂原
ハローワークいすみ
ハローワーク成田
ハローワーク佐原
ハローワーク常陸鹿嶋
東京電力 株式会社 成田支社
(順不同)
※ その他掲載データは当金庫独自の調査によるものです。

発行 ; 銚子信用金庫
編集 ; 営業推進部
住所 ; 〒288-8686 銚子市双葉町5-5
電話 ; 0479-25-2121
FAX ; 0479-24-4591
E-mail ; eisui@choshi-shinkin.co.jp
URL ; http://www.choshi-shinkin.co.jp

ちょうしんさん ビジネス知恵袋のご案内

「取引先事業所の成長・発展」を目的に、経営コンサルティング企業の矧タナベ経営とタイアップし、みなさまのビジネスを支える多彩な情報をインターネットを通じてご提供するサービスです。

【年会費】17,850円(うち消費税850円)

【ご入会】当金庫取引の有無は問いません。入会申込書は、お近くのちょうしんさん窓口またはご担当の営業担当者におたずねください。

経営情報レポート

業種別・機能別・経営テーマ別に分類。
改善事例や経営ノウハウなど総数2,000種類の経営情報をご提供。

法律アドバイスネット

法律に関するQ&A4,000種類。申請書・申告書記載例300件、根拠条文も閲覧可能。

ネット経営相談

企業経営に関するアドバイスネット。FAQを50件掲載。
あらゆる経営のお悩みをご相談ください。専門コンサルタント、法律・税務の専門家がメールでアドバイスいたします。

レポート・ネット

毎月配信するリーダーズ・レポートと地域版コンサル・レポートをご覧いただけます。

その他のコンテンツを含めて、全16の充実したコンテンツが満載！
みなさまのお申込みをお待ちしています。